

生ごみ処理機利用モニター募集

可燃ごみの4分の3を占める生ごみ。その80%は水分で「生ごみ処理機」を使うとごみの量を効果的に減らすことができます。しかし、生ごみ処理機は高額であるなどの理由で試すことができないという声がありました。そこで、市では無償レンタルをスタートします。

- | | |
|-----|---|
| 期 間 | 3カ月間(期間内での返却も可) |
| 貸出数 | 10台(申し込み多数の場合は、順番待ちとなります) |
| 費 用 | 無料 |
| その他 | ▶電気代は負担をお願いします。
▶期間中に生ごみ量の計測記録、アンケートの記載をお願いします。
▶汚れを落としてから返却してください。 |



- 幅 26.8cm
- 奥行 36.5cm
- 高さ 55.0cm

3カ月のモニター終了後は…以下のいずれかを選んでいただきます。

- 1 購入補助金を活用し、生ごみ処理機を購入
補助金額：上限3万円(本体価格の2分の1補助) ※令和5年度からは上限が5万円になります。
- 2 有償レンタルへの切り替え
- 3 使用終了

問い合わせ 環境推進課 ☎24・8069

国際交流コーナー
International City
KOMATSU

～国際交流員フィミンのこまつ新発見～ ふるさと 故郷から故郷へ



7月、3年ぶりにシンガポールへ里帰りしました。久しぶりの母国で、ありがたいと改めて感じたことがいっぱいありました。数分ごとに来る電車やバスで、国内のどこにでも安く簡単に行けること。土砂降りや猛暑の日でも屋根付き道路や地下道で移動できることなどです。

人口の8割が住む公営住宅や高層ビルのおかげで、日陰が多いです。屋内に駆け込むと、クーラーが最大限に効いていることが多いため、シンガポールは常夏の国なのに、実は「屋内の冬」でもあると思います。また、深夜でも夜明けでも、近くの24時間食堂でご飯を食べられます。自炊しなくても近所のホーカーセンター(屋台風の飲食店を集めた施設)の豊かな地元料理で安く済ませることもできます。

それでも、帰省中小松市がだんだん恋しくなりました。ぼーっとしながら、誰もいない自然に囲まれる道を走りたくなりました。落ち着いたお店で一服したり、おいしいお酒を飲んだり、採れたての野菜や海鮮を食べたくなりました。何よりも、小松市の皆さんに会いたくなりました。だから、帰ったらすぐ友達と小松うどんを食べました。すぐに自転車で山へ向かって、大好きなひまわりを觀賞して、川沿いのカフェで心身を癒やしてきました。そして、すぐによさこい練習に戻って、大好きな皆さんと踊りました。

久しぶりに母国を訪れて、改めてシンガポールにも小松にも愛着が深まりました。二つの故郷に恵まれて、感謝いっぱいです。



▲私が住んでいる公営住宅(左)、近所の24時間食堂で食べられる300円の料理

問い合わせ 観光交流課 ☎24・8039